

当院では、臨床研究を現在行っており、患者さまの参加とご協力をお願いしております

研究の名称：『神経障害性疼痛に対するミロガバリンの有効性と安全性 —プレガバリンからの変更を含む—』

研究担当者：藤井洋泉、香曾我部義則、小野大輔

#### 研究の目的

神経障害性疼痛は、重症度が高く、罹病期間も長く、生活の質の低下をもたらしますが、その治療の第一選択は薬物療法です。プレガバリン（リリカ）が、現在 神経障害性疼痛 に対しての第一選択薬として多くの患者さんに使用されています。α2δ サブユニットに結合しカルシウムイオンの流入を抑制することで、興奮性神経伝達物質の過剰放出を抑制することにより鎮痛作用を発揮します。しかし、特効薬ではなく、効果がみられない場合や、副作用で減量・中止をしなければいけない場合もあります。

ミロガバリンは、プレガバリンと同様の作用機序で鎮痛作用を発揮しますが、より α2δ-1 サブユニットに持続的に結合するため鎮痛作用が強く、副作用の発現が低下することが期待されます。

そこで、ミロガバリンの有効性・安全性を調査することで、神経障害性疼痛の軽減に役立つものと考えています。

#### 研究の対象

神経障害性疼痛と判定できた方

#### 研究の方法

ミロガバリンを投与して あるいは、現在内服されているプレガバリン（リリカ）からミロガバリンに変更して、1年後まで痛みの変化、副作用の有無などをお聞きします。当院への通院を中止された場合は、電話をかけさせて頂きお聞きすることがあります。その他にはこの調査のために特別な検査をすることはありません。

#### 調査期間

令和1年5月1日から令和3年4月30日まで

#### 情報・プライバシーの保護

ご自身の情報は他の多数の方の情報と合わせて集計し、関連の学会および論文にて発表する予定です。個人が特定できるような具体的な情報は公表されません。

この調査にご協力頂けなくても治療する上でご自身が不利益を受けることはありません。

また、一旦本調査に同意した後でも、いつでも撤回することができます。

本調査についてお聞きになりたいことがありましたら、いつでもおたずね下さい。

お問い合わせ・連絡先

梶木病院 麻酔科

氏名 藤井 洋泉

TEL 086-293-3355

FAX 086-293-6175